

アバターを活用した専門家による
働く女性のウェルビーイング向上のための
サポート実証事業

— 中間報告書 —

事業概要

“アバター”というテクノロジーを活用し、
働く女性が助産師に
“フラット”に相談ができる環境を提供する

目指す個人の変容

- ・働く女性達が自身の身体に関心を持ち続け、健康課題に大きく悩まされることなく、長く働き続ける
- ・自分自身で本当に必要な情報やケアを取捨選択できる力をつける

目指す社会の変容

- ・自身でライフイベントとキャリアの両立を計画・実現し適切に対処できる女性を増やす

flat.

アバターで気軽に相談！



flat.は助産師による女性のためのサービスです。

女性特有の健康課題にはさまざまなものがあり
そしてそれはライフステージに応じて変化していきます。

頑張る皆さんが、より健康で楽しい毎日を送れるよう
助産師が味方となり、サポートしていきます。

● セミナー・アーカイブ

知る

YouTubeやzoomなどで匿名参加可能な形式でセミナーを開催。
助産師がアバターの姿で登壇し、
普段聞きづらい悩みや質問などをコメントできるような
オンラインイベントを主に開催。

● 助産師へのアバターカウンセリング

向き合う

アバターの姿で素顔を見せずに、気軽に、助産師に相談ができます。
オンラインで直接悩みを相談することで
より深いパーソナルなアドバイスが可能となります。

● 助産師監修の個人向け改善ワーク

整える

オンライン相談で受けた相談内容、症状を元に
その人の悩みの改善に役立つワークの動画コンテンツをお送りします。
手軽にできる体操やストレッチ、マッサージなどを中心とし、
習慣化のお手伝いをいたします。

★ 習慣化や健康意識の向上…ウェルビーイング

アバターの有用性を検証

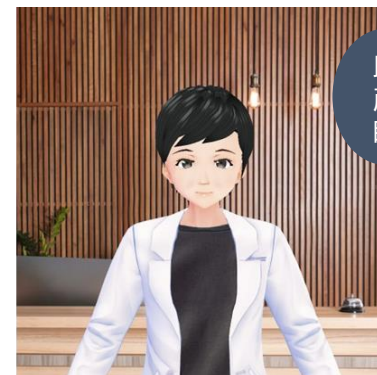


相談者

アバターカウンセリング

双方アバターの見え方となり会話

←-----→
プライバシー性を保った状態のため、
本音が言いやすい状態での対話をオンラインで実現



助産師



助産師×就労女性を ①リアル×リアル ②アバター×アバター
2パターンで無作為割付し20分の相談。
音声データにより比較研究。(研究協力：大阪大学さま)

助産師×就労女性

①アバター×アバター ②リアル×リアル

募集・登録

割付

健康相談
(20分)

A:事前調査

無作為

B:音声データ収集

C:直後調査

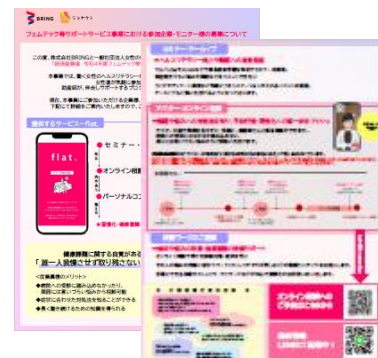
D:28日後調査

実施事項		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
告知・集客	メトロポリターナ等 記事掲載			コラム	コラム					
オンラインセミナー	ライブ大規模配信 (100名規模)			9月		11月				
	ライブ配信 (50名規模)		月1回*2回		月2回*3回					
	アーカイブ								分析 報告書 作成	
アバターカウンセリング										
改善ワーク										

計画に基づき実施したこと①

システム 体制構築

- ランディングページ及び予約サイトの構築
ニーズ調査のうえ要件定義・システム構築を行うとしてまずは無料作成
- コンテンツ配信用のPFとして公式LINE構築
- 企業人事担当者さま向けのチラシ作成



告知・集客

- メトロポリターナへのコラム掲載・産経新聞社への記事掲載
(産経新聞社様によるご協力により)



- オンライン展示会への出展や取引先企業様への営業アプローチ

セミナー

●オンラインセミナーの開催（計2回）

参加人数:計82名

- 1) 08/26 : 個人向け セミナー
- 2) 10/19 : 企業従業員向け 株式会社ビゼル様との共催セミナー

テーマ「働く女性が知っておきたい”ところとからだ”のこと
～働く女性のライフステージにおける健康課題と対処について～」



▶講師である助産師がアバターで登壇

投票やクイズなども盛り込み
間延びしないような形式で実施

ライブ配信 コンテンツ

●YouTubeライブの開催(計2回)

- 1) 09/21 : 生理にトラブルがある人あつまれ！
- 2) 10/13 : 更年期を幸年期にしたい人あつまれ！

視聴数:107回
(11/11時点)

●ライブのアーカイブ公開

個人向けワーク

ピルビスワークに加え、呼吸法・ツボ押し・ピル等の薬の使い方など
相談ニーズに合わせて、専門家監修のワークコンテンツを拡充

オンライン相談

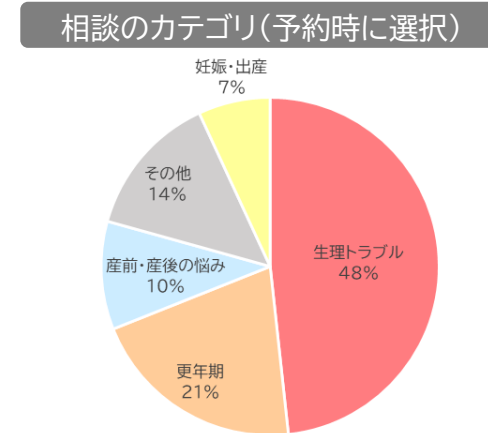
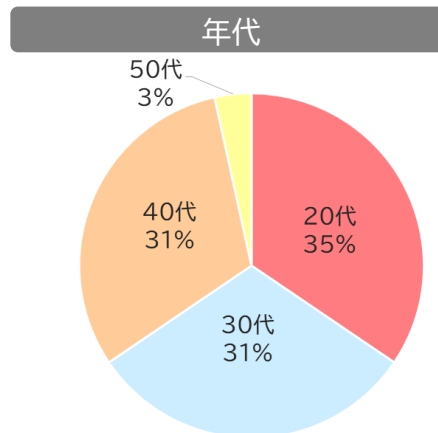
<オンライン相談>

相談時間1枠20分 予約サイトよりニックネーム(匿名)で予約
 アバター同士か生映像同時の2パターンでランダムで割り当て

- 7~8月 準備・助産師へのオリエン
- 9月~ テスト稼働
- 10月~ 本稼働

➔29名へのカウンセリングを実施(※11/11時点)

カウンセリング実施数	
9月	5名
10月	14名
11月	10名
計	29名



生理トラブル	<ul style="list-style-type: none">・PMSで気分の浮き沈みがある・イライラがひどく周囲にあたってしまう・ピルを内服しているがうまくコントロールできない・生理不順により病気を疑っている・生理前の体調不良・生理痛・月経量が多い方なのか・生理周期は正常か
産前・産後	<ul style="list-style-type: none">・パートナーや自分の年齢と妊娠時期について・妊活と仕事の両立・赤ちゃんの授乳量が気になる、体重が伸び悩んでいる・2人目出産にあたっての子供との向き合い方・初めての子育てで赤ちゃんとの遊び方が分からない・子供の発達が気になる
更年期	<ul style="list-style-type: none">・閉経に向かっているかどうかを知りたい・抱えている症状が更年期症状・障害にあたるのか知りたい・更年期症状への懸念があり、対策を知りたい・ホットフラッシュへの対処法
その他	<ul style="list-style-type: none">・仕事のストレス、肌荒れ・緊張してしまう、パニックになる・デスクワークによる肩こり・むくみ、冷え・フェムゾーンのトラブル・尿意、頻尿・婦人科検診について・乳がんチェックについて

相談者のマインド

相談内容や相談前アンケート「相談に期待することは何ですか？」への回答より

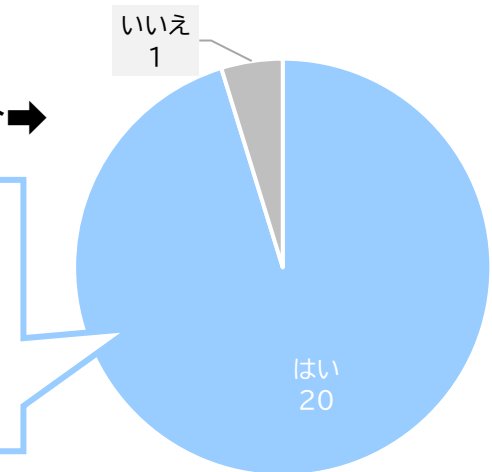
- 悩み・課題の解決 / 明確な症状があり生活や周囲に支障が出ていると感じている
- 心理的な負担の軽減 / 不安があり共感・安心感が欲しい、前向きになりたい
- 新しい打ち手の模索 / 現状のケアでは効かないと感じている
- 正しい情報を得たい / 様々な情報があるなかで専門家による確かな情報を得たい
- ボーダーラインの確認 / 気にする必要があるか、受診すべきかどうかを知りたい

相談満足度

事後アンケート「また相談したいと思いますか？」への回答割合➡

- ・3か月～半年ぐらい定期的に
- ・新たな問題が出た時に
- ・症状がひどくなった時に
- ・また疑問が出た時に
- ・もっと聞きたいことがあるので近いうちに
- ・すぐにでも
- ・不調が出た時
- ・月1ぐらい定期的に

相談時にも、時間を延ばしたり定期相談を求めるコメントが寄せられた



「専門家にいつでも相談ができる場所・環境」へのニーズはありと再整理

アバター相談への声

初対面の人と顔を合わせるのが苦手な人や、外出したくない人はリモートで気軽に相談できる事はとても良いと思いました

アバターは本音が話せそう
(※生映像で相談した方のコメント)

育児中のため、メイクの時間が省けるのはありがたい。

アバターなので、こちらの身なりを気にする必要がないのは良い

顔色を窺わなくていいのが思ったより楽だった。
電話よりは集中できる

生映像で相談しましたが、人見知りなのでリアクションやコメントのときに緊張してしまう。その点はアバターの方が初めから気が楽で良いと思いました。
(※生映像で相談した方のコメント)

現状、一定数のニーズには対応できており
より気軽な環境の提供には貢献できそうな見込み
(継続してサンプル獲得のうえ、最終的に有用性を検証)

- 「アバターカウンセリング」自体が浸透していないため、イメージを持ちづらい人の方が多い
 - 引き続き取り組み自体の周知、メディア戦略
 - セミナーでの紹介やイメージ動画などサービス自体のコンテンツの拡充
- Zoom等の多くの人を使い慣れたWEB会議ツールとは異なる部分があり手こずることがある
 - カウンセラー側と相談者側の両者のユーザビリティ向上
- 企業メリットや相談者のマインドを考えた時に、「相談」だけのサービスではなく、普段から助産師と繋がるコミュニケーション手法を取り入れることも検討必要あり
 - 企業セミナーの開催
 - 相談へのきっかけとなるようなコンテンツ配信(いつでも情報を得られるコンテンツサイトなど)
 - 定期相談や時間延長へのニーズへの対応検討

- オンライン相談のモニター・テストベッド先の開拓(継続)
- 企業(3,000人規模)の健康保険組合さまとの共催セミナー実施(11月末)
- アバターと生映像2パターンでのカウンセリング実施
- 音声データを用いたアバターの有用性の研究
- ワークやコンテンツの拡充



BRINGはアイデアをテクノロジーで具現化し、
世の中の巡りを次々と良くする、循環テクノロジー集団です



株式会社BRING
循環テクノロジー開発本部
坂 美咲 / SAKA MISAKI

Mail) vataraku@bring-corp.jp

Tel) 03-6260-6916